

昭和35年3月15日	昭和32年5月22日 発行第三種郵便物認可	Л		₿Ţ	幸反	(第60号	
		る典:病気見舞の	肥沃土。覆土の土は雑草の 雪市のところを砕土した ら平均に肥料を強きませて	 秋より堆厩肥を十分施した ア土は出来るだけ前年 ア土は出来るだけ前年 レー尺、長さ七尺二寸 添巾五尺二寸、添巾五尺、 	□ 1 反当所要面積乾燥親で ・六尺巾一枚もの ・六尺巾一枚もの 一坪の苗代の大きさ ・六尺巾一枚もの 一坪の苗代の大きさ	烟苗代の作り方 極めて重視されてきた。 で、そのため低温下でも発	水稲畑苗代の
1.とうきの心構を調へ (こうきの心理を調へい)の、 (この)にたい。それなくとも楽しいたい。それなくとも楽しいたい。それなくとも楽しいたい。それなくとも楽しいたい。それないたい。それでない人、	れている。旧約聖書には、 いようにしている。旧約聖書には、 いようにしている。酒は、 いたと書かれ、いましめら たっ世央の高さ一尺一尺 に見している。酒は、 し、夏し氏工いる。酒は、 し、のと書かれ、いましめら	床の中央::尺間隔に支柱 中央::尺間隔に支柱 に初紙等を被せておく(発 し込み、中骨、間(的のさ し込み、 し込み、 (発)	上に二~三分位の厚さにか 発芽を揃えるため床の上	フルイで通した土を種子の 循種、予じめ五分目程度の が一番種は四月七日前后に潘	4 アルカリ性は避ける。 5 種籾の準備 防除 アルカリ性は避ける。	は播種前七~十日前に施し 当り四~五斗。坪当りの肥料 はで、硫加五〇久、過石一	小小得 入普 長から充分に溜水する。 呼び に すい 市 に な で の 距 た な 形 な で の 照 大 普 及 所 の に し 四 な い 床 面 に な の で の 照 大 の で の 照 で の 照 大 の で の 照 い て の に ま の で の 照 い て の に よ の で の 照 に た い て の に ま の で の 照 に た い て の に あ い て の に あ い て の に あ い た る 二 本 か た 、 た の 二 本 か た 、 た の 一 本 か た の 二 本 か た の 一 本 か た の 一 本 か た の 一 本 か た の 一 本 の た の 一 本 か た の 一 本 か た の 一 本 の た の 一 本 の た の 一 の 一 の た の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の つ 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の 一 の つ つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の の の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ の つ つ つ つ つ の つ つ の つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ の つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ つ
なようなやり方は、やしんせいうより しみをあらわすというより しみをあらわすのためした。 しみをあらわすのながって相手の 気持をたく考えて酒をすす あるべきで、これが所謂 われても仕方がない。 な意であって相 うなたり方と でいうより りたでしたせて配給す でいたなしるたちって相 うなたり方と	6 播種後の滝水はさける る生育後期は温多温をない ことである。酒席に交空 るとなる。酒席に交空 るという、ことは交 いたあるとは交 のであるとは交 のであるとはない。 ない、乱れ	第1000000000000000000000000000000000000	畑かい・	日数三〇日~三五日、本薬のかかかりたり	のす C C る C	・発芽揃いから本葉二葉位・発芽が揃うまでは風害の	9 ビニール状 10 指種後の管理 に 10 指種後の管理 10 指種後の管理 10 よ 10 よ 1
▶ 6 % (只防、福水恵喜男) ● 1 % がある。 したいものでしたかもので ではなく、交盃の仕方を本 来の姿に返へそうと云うの は交盃を止めようと云うの しかし、この運 動も一片のポスターで終る 動も一片のポスターで終る ためし、この運 更しいものとしたかもので したいもので ことなく、その効果をあげ のために一人一人が勇敢に ことなく、その効果をあげ のために一人一人が勇敢に ことなく、その効果をあげ のために一人一人が勇敢に ことのしたいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したいもので したのある。これ、 長栄として したの したのある。 しかし、 ためし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 しかし、 たのある。 たのものと たのある。 たのものと したのものと したのものと したのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのものと したのものと たのある。 たのものと たのある。 たのものものと したのもの。 たのある。 たのものもので たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのものものもの。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのまたる。 たのある。 たのまたる。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たのある。 たの。 たのる。 たのる。 たのる。 たの。 たのる。 たのる。 たの。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たの。 たので たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たの。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たの。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たの。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たのる。 たの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たのの。 たののの。 たののの。 たののの。 たのののののののののの	・電気機器のビーコンや売りたことは うテーマをかかげたことは うテーマをかかげたことは	年の間に航海、機関術は勿 さからわないようにと、越 風速十米以上の突風が吹き 置の痛ともいわれ、絶えず	比幸のアリュンヤン毎次す の過ぎから旅立つ。殊に、 の過ぎから旅立つ。殊に、			− 年もサケマコ ~	月10日 日に2件の火災発 こわい、こわい 子 供 の 寿 火く 春季防火運動週間
引揚給付金の手続きは しかかかい しょうかかい しょうかい ひょうかい しょうかい ひょうかい ひょうう ひょううう ひょうう ひょう ひょ	はやった。 ない方でまた。 おそでに 市気 たい たた に い に い に に い た に に い た に い た に し に い た に し い た に し い た に し い た に し に た に し に た に し に た に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し に し こ し に し に し に し に し こ し に し こ し に し に し に し に し に し こ し に し こ し こ こ こ し こ し こ し こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	·丙種機関長 西島良吉 ·丙種船長航海士尾山一郎 ·西種船長 尾山芳雄	時後関士 日本一、立塚義進 日本一、立塚義進 二、井田清一、山	 ・乙種二等航海士 ・乙種二等航海士 ・乙種二等、板 飯田 薫、佐藤正幸、板 		スを求め	(3月26日~4月1日)
1 昭和20年8月15日まで6ヶ月 以上生活の本拠が外地にあった方 2 終戦により引揚げるまでに 明題で4亡した方 3 引揚げでまでから死亡した 人 (32 年3月31日以前に内地 で死亡。当時の年令嶺25才以 上の方)	給し現で恩は	来ております。 探になり、わが国の人口	本 なののでしたが、 敬な国勢調査が実施 の発足当時はこく 簡 1 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	 style="border: 10px solid black; background-color: blackground-color: blackground-color: black; background-	 センサスンをの目か目の ロ時の国際基準やの の時の国際基準や の時の国際基準や の時の国際基準や の の 市の の 市の 第 第 4 2 4 4	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	
印かんをご 持惑ください。 と と そ の た に 低 い の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の 、 の	小鳥飼養は許可制 林野に発生する害虫を常食す る保護鳥の繁殖をはかるため鳥 軟の飼養が許可制となりました から無許可詞養者や愛好家は許 可書の交付をうけてください。 なお、詳細は可産業課または 小鳥町究食、金物酸一方) へお 問い合せください。	応募作の著作権は主催者 9 作品は未発表のもの。 着干(記念品)金入選者に	点賞賞 計三 計三 式 式 式 式 五 選 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	· 語来住法:		直、 市や 重復の は、 担当調	
		 今から82年 の工部大学で もされた。後	1. 記念日です 強に電気がついて61 前の明治11年3月25 初めて電灯(アーク) 年この日を 4電気記:	年 日に東京 (丁)がと 念日″と (3)	(第一次)	2 採用試験 3 入 隊 4 待 遇 3	年令18才以上25才未満の 子(6月1日現在)中卒程 4月25日魚津保健所 6月下句 初日絵6.400円、営(際)内 住、被服貸与、食事支給 詳細は2次場または自衛隊 山地方連絡部へ
日本文化史 家永三郎 市太太郎 大百円也 長島啓太郎 人間の科学と哲学太一年生 人間の科学と哲学太大郎	 ★ 文明のムジュン★ (コンセントの増設) 「これじや全く交通止めれ 	ます。 北陸地方で 初めて電灯が 61年を経た 電源県として なお、本町	地でお祝いの催しが は、明治32年4月1日 ともされた。 今日では富山県は全[躍進を続けている。 では、大正2年には	庁なわれ ―	まちこりこを交合の十冊 や 利得正しい生活を送ら 1 規律正しい生活を送ら 1 規律正しい生活を送ら	ても一つの門出で す。それぞれの歩 ・・・・ 朝の・・・・	生の不良化のジ1 ・ ジからの説線や心 どからの説線や心 どからの説線や心 で棄明の三月は、例年送
にしたいと考い―(現田) な方もあることに、編集がいろい な方を変つてにに、編集がいろい しまで変ったので立腹され をすい親しみのある町報 したいと考い―(現田) にしたいと考い―(現田)	家 法 認 本 今 養 労 稲 学 江) 村 鶏 田 田 校 角 す の 見 豊 薄	小市為口向小方、※可れ 小市為口向小方、※可れ 川芸全書 三婦の友社 坂井 豊 七地経済と土地和井、豊 小市為口の友社 一般 二、 一次井、豊 二、	キャンピック読本 調田 二 キャンピック読本 期田 二	日赤ソ	不良 不良 不見 ホ 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	化防止につ (入 替) 〇 料理 力者 を も 旅館	い の 以外はやらない 4 生徒の の 泉外は学校で行うも で し 外はやらない で う も 道別会は場所 に た注意する し の し 外はやらない で う も し う も し う も し う も し う も